

瀬戸石ダム・発電所の状況について（2026年5月）

瀬戸石ダム・発電所(熊本県葦北郡芦北町・同球磨郡球磨村)について、流域の安全・安心に向けた取り組み状況をお知らせします。

1. 出水時における情報の周知・提供について【資料 1】

出水期^(※1)を迎えるにあたり、瀬戸石ダムに関する情報について、様々な手段により周知・提供しております。

なお、当社がお知らせする放流量等の情報はダム地点のものであり、避難等については行政から提供される情報等をもとにご判断ください。

※1 梅雨や台風による大雨で河川が増水しやすい期間で、球磨川では、6月11日から9月20日までが出水期間とされています。

お知らせする内容 最新の瀬戸石ダム地点の流量（30分毎）

電話番号:TEL 0120-340-405（フリーダイヤル）／TEL 0966-83-0061（有料ダイヤル）

TEL 0966-65-0017（有料ダイヤル）

TEL 090-6243-1469（有料ダイヤル）

2. 下流警報設備の改善【資料 2】

「令和2年7月豪雨（2020年）」により被災した下流警報設備については、翌年の出水期前の2021年5月末までに復旧を完了しました。復旧にあたっては、可能な範囲で装置の取付け位置を高くする対策を行いました。

さらに、「令和2年7月豪雨」と同規模の出水が発生した場合に浸水のおそれがある一部の警報設備をより高い場所に移設する対策を進めており、2026年度上期の完了を予定しています。

3. 瀬戸石調整池の堆積土砂排除等【資料 3】

2025年度は約3.2万m³の堆積土砂排除を行いました。排除した土砂は全量を国の公共事業に提供する等有効活用への協力を行いました。

また、最新の調査による堆積土砂量は、2012年度のピーク時から約7割減少しております。

4. 瀬戸石調整池における通砂／排砂運用等

瀬戸石ダムでは、出水期間中に川の流れを活用した通砂／排砂運用を行うことで、堆積土砂量の低減を図っています。今年度も6月より通砂／排砂運用を実施します。出水期後は、それらの状況調査の結果を踏まえ、堆積土砂の排除を実施してまいります。

今後も土砂排除や出水時の通砂/排砂運用により堆積土砂の低減に努めてまいります。

なお、当社ホームページにて、「通砂/排砂運用情報」等が確認できます。

(閲覧方法)

右のQRコードを読み込んでいただくか、
次のURLからご覧ください。



https://www.jpowers.co.jp/bs/renewable_energy/hydro/seto/safety.html

5. 瀬戸石ダムの安全性【資料4】

2026年3月に実施した変位測量等の結果においても、特に変化は認められず、ダムの安全性に問題はないことを確認しております。今後も調査・確認を継続してまいります。

6. 瀬戸石ダム 事前放流による水位低下【資料5】

瀬戸石ダムでは大きな出水が予想される場合に、2020年5月に河川管理者、ダム管理者および関係利水者との間で締結した「球磨川水系治水協定」に基づき事前放流を実施し、調整池の水位を低下させ空き容量を確保するとともに、通砂／排砂により同容量の維持・拡大を目指す運用を実施しています。

大きな出水となった2022年9月の台風14号や2023年8月の台風6号、2024年8月の台風10号において、事前放流により容量の確保に努めました。

なお、2023年度からは、6月～9月の間、通砂／排砂運用によりダム水位を更に低下（最大容量680万m³から870万m³に拡大）させる運用を開始しています。

7. 瀬戸石ダムの連絡橋の通行

連絡橋の補修は、上下流の道路・橋の復旧状況を踏まえ、2023年10月より開始し、2026年5月末に補修工事を完了予定です。

これにより連絡橋は、2026年6月より4トン以下の車両および歩行者の通行が可能となります。

当社は、今後も流域の皆さまの安全・安心のために必要な対応や改善を継続しながら、発電所の安全運転に万全を期してまいります。

<添付資料>

【資料 1】 瀬戸石ダム 球磨川増水時のお知らせ

【資料 2】 瀬戸石ダム 下流警報設備の改善

【資料 3】 瀬戸石ダム 堆積土砂排除実績

【資料 4】 瀬戸石ダム ダムの変位測量

【資料 5】 瀬戸石ダム 事前放流による水位低下